



# 平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社東計電算

上場取引所 東

コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 甲田 博康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	10,874	8.6	2,187	16.2	2,428	19.1	1,676	19.2
29年12月期第3四半期	10,014	3.3	1,882	2.1	2,039	2.8	1,407	8.0

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 2,418百万円 (42.5%) 29年12月期第3四半期 1,697百万円 (114.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	182.26	181.38
29年12月期第3四半期	153.37	152.78

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	28,629	23,334	81.4	2,533.59
29年12月期	26,176	21,634	82.6	2,351.23

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 23,314百万円 29年12月期 21,615百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		80.00	80.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成30年8月6日に発表しました配当予想は、本資料において修正をしております。詳細は、本日発表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

当社は、「取締役会の決議により、毎年6月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,505	8.4	2,829	9.7	3,210	9.0	2,211	9.2	240.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期3Q	9,350,000 株	29年12月期	9,350,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

30年12月期3Q	147,757 株	29年12月期	156,557 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期3Q	9,119,845 株	29年12月期3Q	9,175,576 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の保護主義政策や資源価格上昇への懸念により景気後退リスクが意識されるとともに、相次ぐ自然災害の影響を受け、景気は3四半期連続で軟調に推移いたしました。今後も為替や米国発の貿易摩擦の動向が懸念され、景気の先行きに対する見方は慎重になっております。

当業界におきましても、ユーザ企業における設備投資計画は景況感の悪化にもかかわらず依然として高い水準を維持しており、人手不足を背景にした省力化のための投資需要の拡大も相まって堅調に推移しております。具体的には、AIやIoT (Internet of Things) 等の最新技術を活用した商品開発やサービスの提供に期待が寄せられております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、①システム運用業務売上の拡大、②業種別ERPの促進、③人材育成の拡充を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高108億74百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益21億87百万円（同16.2%増）、経常利益24億28百万円（同19.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16億76百万円（同19.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①情報処理・ソフトウェア開発業務

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第3四半期連結累計期間においては、システム運用業務が堅調に推移するとともにソフトウェア開発業務においても受注が堅調となり、売上高は97億40百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は20億01百万円（同17.1%増）となりました。

#### ②機器販売業務

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なハードウェアの販売等であります。当第3四半期連結累計期間においては、販売数量は減少したものの、収益構造が改善したため、売上高は8億66百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は1億33百万円（同11.4%増）となりました。

#### ③リース等その他の業務

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸業務であります。当第3四半期連結累計期間においては、主要な取引先である建設業界の受注環境が前期に比べて改善し、売上高は2億66百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は52百万円（同1.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は286億29百万円となり、主として投資有価証券等の増加により前連結会計年度末に比べて24億53百万円増加しました。総負債は52億95百万円となり、主として繰延税金負債等の増加により前連結会計年度末に比べて7億53百万円増加しました。純資産は233億34百万円となり、主として利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて17億円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月6日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありませんが、配当予想を上方修正いたしました。詳しくは、本日開示の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想及び配当予想につきましては、当社グループが発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要素や今後の経済状況、環境の変化等により、実際の業績及び配当は当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,526,395	939,391
受取手形及び売掛金	2,065,823	2,588,012
有価証券	500,988	783,810
商品	11,064	11,440
仕掛品	970,793	867,514
関係会社短期貸付金	—	12,291
繰延税金資産	122,227	203,201
その他	194,513	615,068
貸倒引当金	△1,199	△249
流動資産合計	5,390,606	6,020,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,469,222	2,348,409
機械装置及び運搬具(純額)	36,470	36,309
土地	4,385,990	4,385,990
その他(純額)	538,526	542,184
有形固定資産合計	7,430,210	7,312,895
無形固定資産		
のれん	7,999	6,499
その他	7,131	7,016
無形固定資産合計	15,131	13,516
投資その他の資産		
投資有価証券	13,292,288	15,220,056
退職給付に係る資産	2,414	19,294
その他	45,568	43,640
貸倒引当金	—	△14
投資その他の資産合計	13,340,271	15,282,976
固定資産合計	20,785,613	22,609,388
資産合計	26,176,220	28,629,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	466,581	478,489
未払法人税等	536,600	400,060
賞与引当金	266,635	544,252
役員賞与引当金	9,600	—
その他	2,150,549	2,430,445
流動負債合計	3,429,967	3,853,247
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,894	25,382
繰延税金負債	1,079,876	1,409,389
その他	7,013	7,013
固定負債合計	1,111,783	1,441,785
負債合計	4,541,750	5,295,033
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,384,969	1,388,227
利益剰余金	16,610,170	17,551,454
自己株式	△234,538	△221,643
株主資本合計	19,130,751	20,088,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,544,554	3,276,892
退職給付に係る調整累計額	△59,378	△50,338
その他の包括利益累計額合計	2,485,176	3,226,554
新株予約権	18,129	19,675
非支配株主持分	411	418
純資産合計	21,634,469	23,334,836
負債純資産合計	26,176,220	28,629,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,014,137	10,874,023
売上原価	6,632,496	7,143,347
売上総利益	3,381,640	3,730,676
販売費及び一般管理費	1,499,278	1,543,120
営業利益	1,882,362	2,187,555
営業外収益		
受取利息	32,709	32,201
受取配当金	191,064	231,569
有価証券売却益	56,342	62,144
有価証券償還益	2,062	1,905
貸倒引当金戻入額	0	950
雑収入	15,369	23,812
営業外収益合計	297,549	352,581
営業外費用		
支払利息	64	284
有価証券売却損	134,791	33,190
有価証券償還損	2,630	74,749
雑損失	3,315	3,469
営業外費用合計	140,802	111,693
経常利益	2,039,108	2,428,443
特別損失		
固定資産除却損	1,509	2,056
特別損失合計	1,509	2,056
税金等調整前四半期純利益	2,037,599	2,426,387
法人税、住民税及び事業税	703,187	828,160
法人税等調整額	△72,848	△78,547
法人税等合計	630,339	749,613
四半期純利益	1,407,259	1,676,773
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,407,244	1,676,759

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,407,259	1,676,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281,244	732,337
退職給付に係る調整額	8,648	9,039
その他の包括利益合計	289,892	741,377
四半期包括利益	1,697,152	2,418,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,697,136	2,418,137
非支配株主に係る四半期包括利益	15	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年 1月 1日 至平成29年 9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,846,709	905,943	261,484	10,014,137	—	10,014,137
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,620	—	1,822	3,442	(3,442)	—
計	8,848,329	905,943	263,307	10,017,580	(3,442)	10,014,137
セグメント利益	1,709,195	119,755	53,411	1,882,362	—	1,882,362

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成30年 1月 1日 至平成30年 9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	9,740,675	866,709	266,638	10,874,023	—	10,874,023
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,620	—	1,287	2,907	(2,907)	—
計	9,742,295	866,709	267,925	10,876,930	(2,907)	10,874,023
セグメント利益	2,001,576	133,462	52,516	2,187,555	—	2,187,555

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。